

特別上映会

# 「忘却の引揚げ史」

入場無料

→船上の引揚者

## 幻のドキュメンタリー 「引揚港博多湾」を上映

【日時】2017年 **11月26日** (日曜) 午後2時半～4時半 (午後2時開場)

【会場】福岡市立**博多小学校**体育館 (地下鉄「呉服町」駅徒歩7分)

【主催】二日市保養所を語り継ぐ会

☆お問い合わせ：下川正晴 (携帯電話090-9796-1720)

### トークセッションも

幻の名作ドキュメンタリー「引揚港博多湾」(1978年)を、RKB毎日放送の特別許可を得て上映します。

戦後の博多・御供所町にあった引揚孤児施設「聖福寮」や、筑紫野市の中絶施設「二日市保養所」を記録した映像は、1978年度日本民間放送連盟賞の社会部門優秀賞受賞作品です。ディレクターの上坪隆(故人)も満州からの引揚者。戦後の福岡で起きた引揚者の悲劇を記録し、映像のほか著作「水子の譜」として後世に残しました。

当日は「引揚港博多湾」のDVDを上映(45分)。引き続き、最近刊「忘却の引揚げ史～泉靖一と二日市保養所」(弦書房)著者の下川正晴(毎日新聞元ソウル特派員)と、福岡在住の歴史研究者・浦辺登(「玄洋社とはなにか」著者)とのトークセッションも行います。

## 敗戦直後の 悲劇！



引き揚げ孤児と「福岡友の会」の女性たち(1946年11月)

**戦後史の穴……二日市保養所**  
博多港は日本最大級の引揚げ港だった。二日市保養所は「戦後史の穴」である。敗戦後、満州(中国東北部)や朝鮮北部でソ連兵などによって性暴力被害を受けた女性達の中絶手術と治療が行われた場所だ。その数は400～500件だったという。

1988年、北朝鮮からの引揚者である作家・五木寛之はテレビ朝日「徹子の部屋」に出演し、二日市保養所の悲劇を語った。五木はRKB毎日放送ディレクター上坪隆の著書「水子の譜」を手に取り「若い人たちにこの事実を広く知ってもらいたい」と語った。

それから約30年。いま「二日市保養所」を知る人は、何人いるだろうか。(下川正晴「忘却の引揚げ史」はじめに)